

象牙

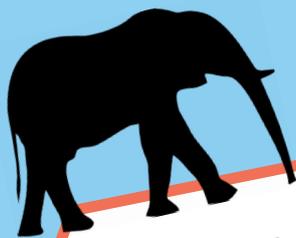


※1 全形を保持した象牙のみが登録対象です。印鑑やアクセサリーなど象牙製品は登録対象外です

※1 おうちに未登録の象牙 ありませんか？

登録されていない象牙を
※2
売ったりあげたりするのは違法です！

※2 所有者死亡による近親者への相続は、違法になりません。ただし、その後、販売等をする場合にはあらかじめ登録が必要です



環境省では
国内にある象牙の在庫の
把握を進めています
未登録の象牙を
お持ちの方、
まずは下記まで
ご連絡を！

違反した時の罰則

個人は
5年以下の懲役
もしくは500万円以下の
罰金、またはその両方

法人は
1億円以下の罰金



象牙以外にも登録が必要な動植物がありますのでご注意ください

象牙在庫把握キャンペーン事務局

TEL: 03-6659-4660

(土日祝日を除く10時~17時)



象牙在庫把握

アフリカでは象牙の採取を目的としたゾウの密猟や象牙の密輸があることから、国際的に象牙の管理強化が求められています。日本国内には過去に合法的に輸入された象牙が多数存在します。近年象牙が大規模に日本へ密輸入されているという情報はなく、日本での象牙の利用が近年のアフリカゾウの密猟に影響しているとは考えられませんが、全形を保持した象牙*の国内在庫を把握することにより、象牙をより厳格に管理することを目的として、環境省では「象牙在庫把握キャンペーン」を行っています。

※全形を保持した象牙とは・・・いわゆる「牙」の形をしたもので、ゆるやかに弧を描き、根元から先端にかけて先細るといった一般的に象牙の形と認識できるもの。彫り物（龍や七福神、鯉など）であっても彫りの程度にかかわらず牙の形状をしているものは登録の対象となります。ご自身で判断が難しい場合はご相談ください。

キャンペーンとは？



登録を受けたら

全形を保持した象牙*は、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、譲渡し等（売る・買う・あげる・もらう・貸す・借りるなど）が禁止されています。ただし、登録を受けていれば登録票とともに譲渡し等が可能になります。

全形を保持した象牙以外にも譲渡し等を行う場合に登録票が必要となる動植物がありますのでご注意ください。

国際希少野生動植物種の一覧（環境省 HP）

<https://www.env.go.jp/nature/kisho/global/beppyo2-2.pdf>



罰則について

登録されていない象牙の譲渡し等を行った場合は、渡した側、受け取った側両方に厳しい罰則があります。

個人の場合：5年以下の懲役もしくは 500 万円以下の罰金、またはその両方

法人の場合：1億円以下の罰金

登録しないままにしておく、登録に必要な書類の紛失や記憶が曖昧になり入手の経緯等を説明できなくなり、いざ登録しようと思ったときに登録できなくなってしまうかもしれません。また、2019年夏から、象牙を取得した経緯を説明する書類の審査が厳しくなる予定です。

登録対象外の例

象牙の根付



象牙の置物



象牙の印鑑

象牙以外で登録が必要な動植物の例

トラの敷皮



マダガスカルホシガメ

ヨウム



登録の対象となる象牙は？

本物の象牙：プラスチック製や練り物（象牙の粉を固めて成型したもの）は登録対象外です。なお、本物、偽物の確認は、申請者自身で行ってください。

全形を保持しているもの：牙の形をしていない製品等（印鑑、アクセサリ、麻雀牌など）は登録対象外です。

規制適用日前に取得されたもの：

アジアゾウの牙：昭和 55（1980）年 11 月 4 日以前に輸入され、国内で取得されたもの。

アフリカゾウの牙：平成 2（1990）年 1 月 18 日以前に輸入され、国内で取得されたもの。



登録に必要なもの

- 登録申請書
- 取得経緯の自己申告書
- 取得経緯の裏付けとなる書類
- 登録したい象牙の写真（4枚程度）
- 本人確認のための公的書類（免許証、保険証等）の写し
- 手数料

まずは電話で〈TEL:03-6659-4660〉にご相談ください！